

臨時総代会の開催と新任役員について

10月25日、JA本店で臨時総代会が開催されました。総代500人中本人出席が100人、代理出席が1人、議決権行使書の提出が292人と、出席者が半数を超えたため、臨時総代会は成立しました。

議案審議では、議長に田舎館地区の相馬繁氏が選任され、議案「役員の補欠選任について」を審議。投票の結果、吹田定義氏（平賀3区）が新役員に可決決定されました。



ふきた さだよし
吹田 定義 理事 (平賀3区)
令和5年10月25日より就任
(営農購買委員・米穀委員)

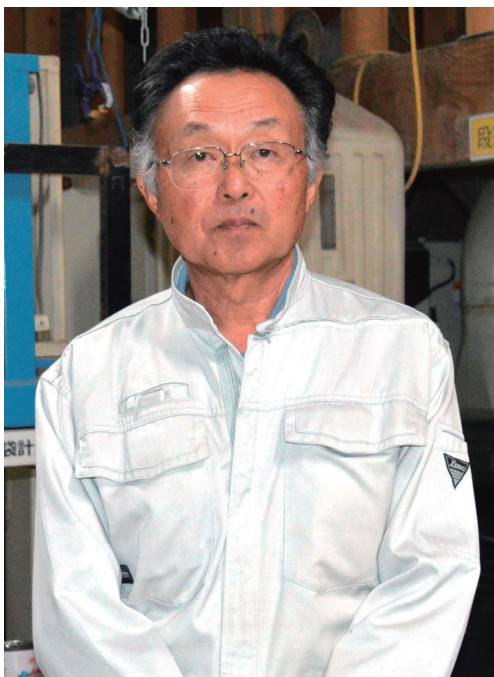
JA役員が田中稔賞を受賞

常盤地区の横山英樹監事が、青森県稲作関係で最も権威のある「田中稔賞」を受賞しました。

農薬や化学肥料を減らし、環境に負荷をかけないよう配慮した米の安定生産や、新技術・新品種の普及に向けて、県や研究機関に協力したことが評価されました。

JAが関東方面の生活協同組合との契約により取り組んでいた「減農薬栽培米」の栽培を就農時から取り組んでおり、現在も継続しています。また、病害虫の被害に備え、計画的な畦畔の除草や稲わらのすき込みなどを行い、環境に優しい水稻栽培にこだわってきました。

横山監事は受賞について「田中稔賞の受賞は、稲作農家にとってはとても名誉なことなので、とてもうれしく思う。今後は、県産米の良食味安定生産を次世代へバトンタッチできるように、新品種の『はれわたり』のブランド化に力を入れていきたい」と話しました。



田中稔賞を受賞した横山監事